

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 7 月 14 日 (2005.7.14)

【公開番号】特開 2002-87843 (P2002-87843A)

【公開日】平成 14 年 3 月 27 日 (2002.3.27)

【出願番号】特願 2000-275150 (P2000-275150)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 3 C 8/10

C 0 3 C 3/072

C 0 3 C 3/074

C 0 3 C 8/16

C 0 3 C 8/24

【F I】

C 0 3 C 8/10

C 0 3 C 3/072

C 0 3 C 3/074

C 0 3 C 8/16

C 0 3 C 8/24

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 11 月 19 日 (2004.11.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

軟化点が 650 以下であり、50～350 における平均線膨張係数が  $90 \times 10^{-7}$  / 以下である低融点ガラスであって、 $B_2O_3$ 、 $SiO_2$  および  $CuO$  を含有し、質量百分率表示で、 $B_2O_3$  含有量が 11% 以上、 $SiO_2$  含有量が 5% 以上、 $CuO$  含有量が 0.1～1% であることを特徴とする低融点ガラス。

【請求項 2】

質量百分率表示の  $SiO_2$  含有量を同表示の  $B_2O_3$  含有量によって除した値  $SiO_2 / B_2O_3$  が 0.09 以上である請求項 1 に記載の低融点ガラス。

【請求項 3】

比誘電率が 12 以下である請求項 1 または 2 に記載の低融点ガラス。

【請求項 4】

$PbO$ 、 $Bi_2O_3$  および  $P_2O_5$  からなる群から選ばれる 1 種以上を含有する請求項 1、2 または 3 に記載の低融点ガラス。

【請求項 5】

下記酸化物基準の質量百分率表示で、実質的に、

$PbO$  25～83.9%、

$B_2O_3$  11～60%、

$SiO_2$  5～40%、

$Al_2O_3$  0～25%、

$Bi_2O_3$  0～35%、

$MgO$  0～40%、

$CaO$  0～40%、

S r O                    0 ~ 4 0 %、  
B a O                    0 ~ 4 0 %、  
Z n O                    0 ~ 5 5 %、  
L i <sub>2</sub> O                    0 ~ 2 0 %、  
N a <sub>2</sub> O                    0 ~ 2 0 %、  
K <sub>2</sub> O                    0 ~ 2 0 %、  
C u O                    0 . 1 ~ 1 %、  
M o O <sub>3</sub>                    0 ~ 1 . 3 %、  
S b <sub>2</sub> O <sub>3</sub>                    0 ~ 1 . 3 %、

からなり、M g O + C a O + S r O + B a O が 0 ~ 4 0 % である請求項 1、2、3 または 4 に記載の低融点ガラス。

【請求項 6】

S r O + B a O が 1 0 % 以上である請求項 5 に記載の低融点ガラス。